

生物進化の分子基盤と全ゲノム分析

講演者 大島 一彦

<東京工業大学大学院生命理工学研究科・生体システム専攻>

日時：2004年2月26日（木）

14:30 ~15:30

場所：C棟6階セミナー室

要旨

真核多細胞生物のボディプランは、Hox 遺伝子等の発現変化につながる微細な変異により、劇的に変化する事が示されてきた。その一方で、真核生物のゲノムは反復配列の存在により大きく変動していることが明らかになっている。

近年のゲノムプロジェクトの隆盛により、各種のモデル生物や進化的に興味深い生物のゲノム情報が大量に供給され始めている。これらの情報は、タンパク質遺伝子の変異、重複といった顕著なゲノム変化のみならず、非コード領域の微細な変化をも体系的に検討するための好材料であるといえる。

演者は、これまで転移因子の構造・転移機構の研究を行ってきたが、現在は、以前では不可能であった全ゲノム分析の実現により、生物進化とゲノム変化の因果関係を探る新たな方法論を構築している。本セミナーでは、過去に霊長類ゲノムに生じた劇的変化に関する最近の結果を紹介し、今後さらに増大する全ゲノム情報をどのような手法、観点で分析すべきか考える材料を少しでも提供できれば幸いです。

問合せ

ボディプラン研究グループ
高崎 延佳

TEL:078-306-3149 (内線:4301)

E-mail:nobut@cdb.riken.go.jp